

大阪モノレールの 「安全」そして「安心」

運転士の執務

No.15

大阪モノレールでは安全方針に「お客さま安全第一」を掲げ、約65名の運転士が1日平均440本、約6,500キロを走行する列車を無事故で運行させるため、日々安全・安定輸送に努めています。

出勤点呼



運転士は、出勤時に一日の勤務内容を申告すると共に、アルコールチェックなどの心身状態の確認を受けます。アルコール分が感知されれば、直ちに運転業務は禁止されます。

指差喚呼

運転士は、信号等目標物を目で見て、それを指し示し、声を出して認識し、さらに、その声によって確実な確認行為につなげています。



乗降車点呼



運転士は、乗務列車の運転前に、運行指示事項等を確認し、乗務終了後は運転状況等の報告を行います。助役は、運転士の健康状態や身だしなみ等のチェックを併せて行います。